

初版作成日： 2026/07/03

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：真菌用軟膏NZ

製品番号 (SDS NO)：ZQ237J25-1

製品種類：

動物用医薬品

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：疾病の治療、予防または診断

使用上の制限：推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家(医師、獣医師、薬剤師等)の判断を仰ぐこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：日本全薬工業株式会社

住所：〒963-0196福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1番地の1

担当部署：信頼性保証部

電話番号：024-945-3126

FAX：024-945-2394

緊急連絡電話番号：024-945-2300(代表)

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性:区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 1

皮膚感作性:区分 1

生殖細胞変異原性:区分 2

生殖毒性:区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 2

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性):区分 3

水生環境有害性 長期(慢性):区分 3

GHSラベル要素

絵表示:



注意喚起語:危険

危険有害性情報

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

遺伝性疾患のおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

使用前に全ての安全説明書を入手し、読み、従うこと。
 環境への放出を避けること。
 粉じん/煙を吸入しないこと。
 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。
 取扱い後は手をよく洗うこと。眼には触らないこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

ばく露又はその懸念がある場合:すぐに救急の医療処置を受けること。
 医療処置を受けること。
 ばく露又はその懸念がある場合は、医学的助言を求めること。
 気分が悪い時は、医療処置を受けること。
 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗うこと。
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医療処置を受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 眼に入った場合:すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

混合物

成分名	CAS No.	化審法番号	含有量 (%)
フェノール	108-95-2	3-481	1 - 5
サリチル酸	69-72-7	3-1640	5 - 10
白色ワセリン	8009-03-8	-	10 - 15
ステアリルアルコール	67762-27-0	-	非開示
ラウリル硫酸ナトリウム	151-21-3	2-1679	1 - 5

※本製品は動物用医薬品のため、労働安全衛生法第57条及び57条の2に定められたラベル表示及び安全データシート(SDS)の交付義務の対象外となります。

※本製品は動物用医薬品のため、毒物及び劇物取締法第2条に定める毒物又は劇物の対象外となります。

※営業上の秘密に該当する成分及びその含有量は、安衛則第34条の2の6に基づき非開示とします。

危険有害成分

労働安全衛生法「表示すべき有害物」該当成分

フェノール, サリチル酸, 白色ワセリン, ラウリル硫酸ナトリウム

労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分

フェノール, サリチル酸, 白色ワセリン, ラウリル硫酸ナトリウム

化管法「第1種指定化学物質」該当成分

フェノール, ラウリル硫酸ナトリウム

GHS分類区分に該当する危険有害成分

フェノール, サリチル酸, 白色ワセリン, ラウリル硫酸ナトリウム

腐食シンボル該当成分

フェノール, サリチル酸, ラウリル硫酸ナトリウム

健康有害性シンボル該当成分

フェノール, サリチル酸, ラウリル硫酸ナトリウム

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

医療処置を受けること。

ばく露又はその懸念がある場合は、医学的助言を求めること。

ばく露又はその懸念がある場合:すぐに救急の医療処置を受けること。

吸入した場合

気分が悪い時は、医療処置を受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医療処置を受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合:すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合

は外すこと。その後も洗浄を続けること。

医療処置を受けること。

飲み込んだ場合

飲み込んだ場合:吐き出させ、異常がある場合は医療処置を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

火災時の特有の危険有害性

データなし

消火を行う者への勧告

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

データなし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

皮膚、眼及び衣服への接触を避ける。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

密閉できる容器に回収する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミストを吸入しないこと。

(注意事項)

データなし

安全取扱注意事項

使用前に全ての安全説明書を入手し、読み、従うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。

接触回避

データなし

保管

安全な保管条件

室温で保管すること。

安全な容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度及び濃度基準値

設定されていない

職業ばく露限界値

日本産業衛生学会

(フェノール)

5ppm; 19mg/m³ (皮)

ACGIH

(フェノール)

TWA: 5ppm (上気道刺激; 肺損傷; 中枢神経系障害)

(白色ワセリン)

TWA: 可能な限り低く(L)(as Poorly and mildly refined Mineral oil, excluding metal working fluids) (上気道刺激)

TWA: 5mg/m³(I)(as Pure, highly and severely refined Mineral oil, excluding metal working fluids) (上気道刺激)

特記事項

(フェノール)

皮膚吸収

保護具

呼吸用保護具

状況に応じて呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

状況に応じて保護手袋を着用する。

眼及び/又は顔面の保護具

状況に応じて保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

状況に応じて保護衣を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：固体

色：白色～微黄色

臭いデータなし

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲データなし

可燃性データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
 引火点データなし
 自然発火点データなし
 分解温度データなし
 自己促進分解温度/SADTデータなし
 pHデータなし
 粘性率データなし
 動粘性率データなし
 溶解度:
 水に対する溶解度データなし
 溶媒に対する溶解度データなし
 n-オクタノール/水分配係数データなし
 蒸気圧データなし
 蒸気密度データなし
 密度及び/又は相対密度データなし
 相対ガス密度(空気=1)データなし
 20℃での蒸気/空気-混合物の相対密度(空気=1)データなし
 粒子特性データなし
 その他の情報
 臨界温度データなし
 蒸発速度データなし
 VOCデータなし
 その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

反応性
 データなし
 化学的安定性
 データなし
 危険有害反応可能性
 データなし
 避けるべき条件
 保管条件からの極端な逸脱
 混触危険物質
 データなし
 危険有害な分解生成物
 データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[NITE-CHRIIP]

(フェノール)

ラット LD50: 340 - 530 mg/kg (出典: NITE)

(サリチル酸)

ラット LD50: 891 mg/kg (出典: NITE)

(ラウリル硫酸ナトリウム)

ラット LD50: 1200 mg/kg (OECD TG 401, GLP) (出典: NITE)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(フェノール)

ラット LD50: 0.50 mL/kg (換算値: 536 mg/kg) (出典: NITE)

(サリチル酸)

ラット LD50: > 2000 mg/kg (死亡例なし) (出典: NITE)

(ラウリル硫酸ナトリウム)

ウサギ LD50: 約 200 mg/kg (出典: NITE)

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 2, 皮膚刺激

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(フェノール)

区分 1 (出典: NITE)

(サリチル酸)

区分 2 (出典: NITE)

(ラウリル硫酸ナトリウム)

区分 2 (出典: NITE)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な眼の損傷

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(フェノール)

区分 1 (出典: NITE)

(サリチル酸)

区分 1 (出典: NITE)

(白色ワセリン)

区分 2B (出典: NITE)

(ラウリル硫酸ナトリウム)

区分 1 (出典: NITE)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

[製品]

区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(サリチル酸)

区分 1 (出典: NITE)

生殖細胞変異原性

[製品]

区分 2, 遺伝性疾患のおそれの疑い

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(フェノール)

区分 2 (出典: NITE)

発がん性

[成分データ]

[IARC]

(フェノール)

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない

[ACGIH]

(フェノール)

A4: ヒト発がん性因子として分類できない

(白色ワセリン)

A2(as Poorly and mildly refined Mineral oil, excluding metal working fluids): ヒト発がん性の疑いがある

[EU]

(白色ワセリン)

Category 1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

生殖毒性

[製品]

区分 1B, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(フェノール)

区分 1B (出典: NITE)

(サリチル酸)

区分 2 (出典: NITE)

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 2, 臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(フェノール)

区分 1 (心血管系、神経系、呼吸器、腎臓) (出典: NITE)

(サリチル酸)

区分 1 (中枢神経系) (出典: NITE)

(ラウリル硫酸ナトリウム)

区分 1 (中枢神経系) (出典: NITE)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(フェノール)

区分 1 (血液系、心血管系、肝臓、中枢神経系、腎臓) (出典: NITE)

(サリチル酸)

区分 1 (中枢神経系) (出典: NITE)

(ラウリル硫酸ナトリウム)

区分 2 (肝臓) (出典: NITE)

誤えん有害性データなし

その他情報

労働基準法: 疾病化学物質

フェノール[フェノール]

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 3, 水生生物に有害

区分 3, 長期継続的影響によって水生生物に有害

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[NITE-CHRIP]

(フェノール)

甲殻類 (ニセネコゼミジンコ) 48時間 LC50: 3.1 mg/L (出典: NITE)

(サリチル酸)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) 96時間 EC50: 65 mg/L (出典: NITE)

魚類 (メダカ) 96時間 LC50: > 100 mg/L (出典: NITE)

(ラウリル硫酸ナトリウム)

甲殻類 (アカルチア) 96時間 EC50/LC50: 0.12 mg/L (出典: NITE)

水生環境有害性 長期(慢性)

[NITE-CHRIP]

(フェノール)

魚類 (Cirrhina mrigala) 60日間 NOEC: 0.077 mg/L (出典: NITE)

(サリチル酸)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) 72時間 NOEC: 31 mg/L (出典: NITE)

(ラウリル硫酸ナトリウム)

甲殻類 (ネコゼミジンコ) 7日間 NOEC (繁殖): 0.88 mg/L (出典: NITE)

水溶解度

(フェノール)

84 g/L (20°C) (出典: ICSC, 2017)

(サリチル酸)

0.2 g/100 mL (20°C) (出典: ICSC, 1997)

(白色ワセリン)

溶けない (出典: ICSC, 2002)

(ラウリル硫酸ナトリウム)

15 g/100 mL (20°C) (出典: ICSC, 2008)

残留性・分解性

[成分データ]

(フェノール)

急速分解性あり (分解度: 85% (by BOD)) (出典: NITE)

(サリチル酸)

急速分解性あり (分解度: 88.1% (by BOD)) (出典: NITE)

(ラウリル硫酸ナトリウム)

急速分解性あり (分解度: 85% (by BOD); 99.3% (by TOC)) (出典: NITE)

生体蓄積性

[成分データ]

(フェノール)

log Pow: 1.46 (出典: ICSC, 2017)

(サリチル酸)

log Kow: 2.26 (出典: NITE)

(白色ワセリン)

log Pow: 6 (出典: ICSC, 2002)

(ラウリル硫酸ナトリウム)

log Pow: 1.6 (出典: ICSC, 2008)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
 汚染容器及び包装
 地方/国/国際の規則・規制に従って廃棄すること。
 関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

UNRTDG

国連番号：該当しない

海洋汚染物質（該当/非該当）：非該当

国内規制

海上規制情報

船舶安全法：該当しない

航空規制情報

航空法：該当しない

15. 適用法令

該当法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

フェノール[フェノール]; サリチル酸[サリチル酸]; 鉱油[白色ワセリン]; ドデシル硫酸ナトリウム[ラウリル硫酸ナトリウム]

名称通知危険/有害物

フェノール[フェノール]; サリチル酸[サリチル酸]; 鉱油[白色ワセリン]; ドデシル硫酸ナトリウム[ラウリル硫酸ナトリウム]

皮膚等障害化学物質（規則第594条の2）

サリチル酸[サリチル酸]; ドデシル硫酸ナトリウム[ラウリル硫酸ナトリウム]

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

ドデシル硫酸ナトリウム(2.0%);

フェノール(3.0%)

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

フェノール[フェノール]; ナトリウム=アルキル=スルファート[ラウリル硫酸ナトリウム]

大気汚染防止法

揮発性有機化合物(VOC) 法第2条第4項

フェノール

有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質

フェノール[フェノール]

特定物質 政令第10条第1号から第28号

フェノール[フェノール]

水質汚濁防止法

指定物質

フェノール類及びその塩類[フェノール]

適用法規情報

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

※本製品は動物用医薬品のため、労働安全衛生法第57条及び57条の2に定められたラベル表示及び安全データシート(SDS)の交付義務の対象外となります。

※本製品は動物用医薬品のため、毒物及び劇物取締法第2条に定める毒物又は劇物の対象外となります。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第67版 (2026年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2026 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2025
Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。